

## 第5学年 外国語活動指導案

学級： 川崎市立平小学校5年3組  
 日時： 平成22年7月14日（水）5校時  
 場所： 5年3組教室  
 児童数： 33名（交流級1名）  
 指導者： 福山 創  
 ALT： アマデウ ジラベルト マルティネス  
 （インタラック所属）

(1) 単元名 「自己紹介をしよう」(英語ノート I /Lesson4)

(2) 児童の実態

男子15名（交流級1名）、女子18名、合計33名のクラスである。昨年度は日本人講師と年間5回英語活動を行っている。英会話を習っている児童はクラスの2割程度いて、ALTの会話がある程度理解し、外国語活動に積極的に参加している。一方、ほとんどの児童は授業以外で英語に触れる機会が少なく、また、「間違っているかもしれないから」「はずかしいから」「得意ではないから」等の理由で、外国語というだけで恥ずかしさや緊張のため萎縮して消極的になってしまう傾向がある。

しかし、ALTの開放的で前向きな人柄や活動的な指導内容と、担任の海外での異文化体験を興味深く受け止めている学級の雰囲気から、外国語活動を楽しみにしている児童が多い。また、4年生の時に区の学芸大会で演劇に取り組んだ経験から、バディでの活動やロールプレイングには抵抗感が少なく、楽しい雰囲気で行き届くことができる。

- (3) 単元目標
- ①日本語には様々な英語が起源の言葉（外来語）があることに気付く。
  - ②友だちと積極的に好みを確認し合う。
  - ③英語で自分の好みを相手に伝える。

(4) 単元の評価規準

コミュニケーションの態度	表現（聞く・話す）	言語や文化についての体験的理解
○ 自分の好みを相手に伝える。 （行動観察） ※第2時	○ 好みについて聞き取る。 （行動観察，英語ノート点検） ※第1時	○ 普段耳にする外来語の音と英語の音には違いがあることに気付く。 ○ 英語の音を聞いたまま真似て言うことの大切さに気付く。
○ 自分の好きなものを含めて自己紹介をしようとする。 （行動観察）※第4時	○ 友だちに好みを尋ねる。 （行動観察，英語ノート点検） ※第3時	○ 自己紹介の発表をする際のジェスチャーの違いを知る。 ○ ALT と好みを尋ね合う中で文化の違いに対する理解を深める。 （行動観察，英語ノート点検） ※第1時

(5) 単元について

基本的に、文部科学省が作成した「英語ノート I」とその指導資料に基づいて行う。その際に、視聴覚教材や ICT を効果的に活用することで外国語活動をより充実させることをねらっている。

本単元は、すでに学習した「自分の名前」に、「自分の好きなもの」を加えた自己紹介をすることを最終ゴールの活動とする。扱う語は、児童がすでに外来語等として触れたことのある語を取り上げる。児童によっては、テキストでは取り上げていないものが好きだという場合があるが、個別指導等により、それらもできるだけ取り上げるようにする。児童の「伝えたい」という意欲を育むためである。

外来語とそのもとになる語とを比較させ、発音は似ていても、正しくは日本語と英語ではその音に違いがあることに敏感に気付かせ、チャンツやゲーム等で繰り返し触れる中で、自然と聞いたままに言えるように指導する。

また、友だちどうしで情報交換することで、互いの理解を深め、良好な人間関係づくりにもつながられるようにしたい。

(6) 単元計画

時	目標	学習内容	ICT 活用
第1時	<p>・相手の好み(好きなものやそうでないもの)を聞いてわかる。</p> <p>Do you like apples? Yes, I do. No I don't. I like bananas. Thank you. apple, banana, pineapple, strawberry, bird, cat, dog, rabbit, fish, juice, ice cream, milk, baseball, skiing, soccer, swimming</p>	<p>「～が好きですか」「～が好きです」という表現を知る。</p> <p>※レッツ・えんけれせ</p> <p>英語ノートから聞き取った英語をカタカナで書き取る。</p> <p>英語をカタカナで書き取ったカードを表示しながら児童が発表するようにする。</p> <p>●英語の音声を聞いたままカタカナで書き取り、それを発音して ALT に通じるか楽しみながら挑戦することで、英語的な発音やイントネーションに取り組む意欲をもてるようにする。</p> <p>自分や友だちの好きなものを尋ねる表現を聞いたり、聞いたまま真似て何度も繰り返し言ったりする。</p> <p>キーワードゲーム</p>	<p>50インチテレビ</p> <p>白紙カード</p> <p>教材提示装置</p> <p>英語ノート</p> <p>コンピュータ</p>
第2時 (本時)	<p>・自分の好みを答える。</p>	<p>好みを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむために、繰り返し聞いたり言ったりする。</p>	<p>英語ノート</p> <p>コンピュータ</p> <p>50インチテレビ</p> <p>表現フラッシュ</p> <p>絵のスライド</p>
第3時	<p>・相手に好みを尋ねる。</p>	<p>自分の好きなものについて友だちにインタビューし、自分と同じものが好きな友だちを見つける。</p>	<p>50インチテレビ</p> <p>英語ノート</p> <p>コンピュータ</p>

第4時	・相手に好みを尋ねる。	自分の好きなものを含めた自己紹介を全員の 前でする。	50インチテレビ 英語ノート コンピュータ
-----	-------------	-------------------------------	-----------------------------

(7) 言語材料

Do you like ○○? / Yes, I do. / No I don't. / I like ○○. / Thank you.  
apple, banana, pineapple, strawberry, Bird, cat, dog, rabbit, fish, juice, ice cream, milk,  
baseball, skiing, soccer, swimming

(8) 各 ICT の特徴と活用のねらい

50インチテレビ (大画面デジタルモニタ)



大画面に情報を表示することができ、設置や取り扱いも容易である。  
一つの画面をクラス全員で視聴することで、授業の一体感を作り出したり、授業への集中を促したりすることをねらう。

英語ノート(デジタル版)



児童に配布されている本の電子教科書版ともいえるマルチメディア教材である。  
授業の構成と相性の良い教材として活用する。本ソフトを再生するコンピュータや  
拡大表示に用いる50インチテレビは普通教室に常設されているので、日常的に容  
易に活用している。また、時間の都合でALTとの細かい打ち合わせが難しくても、  
英語ノートの内容に沿って授業を行うことで授業を進行し易くなる。

表現フラッシュ、絵のスライド



映像と音声为一体となり、部分的な再生も容易なマルチメディア教材である。  
「表現フラッシュ」と「絵のスライド」はそれぞれ英語ノートの内容を発展させた  
もので、小学校向け学習支援ソフトに付属するイラスト(校務や授業など非営利の  
活動で利用できるもの)を利用してプレゼンテーションソフトで作成した。



視聴覚的な学習効果を期待し、児童が学習内容の認識を高めるのを支援するために  
用いる。特に「絵のスライド」においては、児童が一覧できるたくさんのイラスト  
から発表したいものを選ぶ過程で、学習活動への参加意欲を喚起することをねらっ  
て用いる。

教材提示装置



大型の画面と組み合わせることで、児童の学習成果物の実物を拡大して表示す  
るために用いる。

### (9) 教育放送番組の活用

普段の生活で英語に触れる機会が少ないという児童の実態を踏まえ、NHK 制作の教育放送番組「えいごでしゃべらないと Jr.」を継続視聴した。この番組は英語初心者の児童を対象に制作されており、児童の興味関心をひきつけるために様々な工夫を凝らしている。内容は①えんけれせ塾、②ウエイクアップコール、③えいごキッズ の3つから構成されている。

(以下、番組ウェブサイトの記述を引用し、加筆・編集した。)

- ① は、カタカナ英語を「えんけれせ」として取り入れている。「えんけれせ」は幕末に通訳として活躍したジョン万次郎が初めて English と聞いて書き取った言葉である。ネイティブの発音を聞いて、聞いたままをカタカナでメモし、それをネイティブに聞いてもらって通じるかどうか挑戦する内容である。
- ② は、スペースシャトルに乗る宇宙飛行士が、朝の目覚めのためにリクエストした名曲の中から、曲にまつわる知られざるエピソードや、カッコいいフレーズ、その意味などを紹介している。
- ③ は、全国の英語に挑戦する小学生を応援するコーナーで、「英語だけで授業をする小学校」や「ジェスチャー英会話」など、さまざまな環境や手法で英語を学ぶ元気な小学生たちを紹介している。

(以上、番組ウェブサイトからの引用終わり)

当番組を利用することで、英語に楽しく触れながら学ぶ機会を増やし、英語への肯定感を高めることをねらった。また、番組中で紹介されている「えんけれせ」を外国語活動での授業でも取り入れたり、英語のフレーズを学校生活の中で使ってみるなど、外国語活動の日常化を図った。さらに、視聴の工夫として、番組ウェブサイトの「えんけれせ」コーナーで番組に先立って視聴予定の番組で使用されるフレーズを「えんけれせ」で書き取らせ、視聴に臨むという活動を放送6回目から取り入れた。児童からの聞き取りにより、英語を聞き取ろうとする意欲が高まったり、以前よりも番組内容がわかるようになった、という変化をみとることができた。

また、ALT が来校する日の朝に番組ウェブサイトで「えんけれせ」を行い、そこで聞き取ったフレーズを英語活動の時間に ALT へ問いかけてみる活動でも、子どもたちの英語を話そうとする意欲の高まりがみとれた。

本実践は学年全体での取り組みと言うこともあり、毎週1回、朝自習の時間に学年全員で視聴覚室にて録画した番組を視聴している。

#### ※番組の視聴計画

時期	番組：NHK「えいごでしゃべらないと Jr.」 E：えんけれせ / F:フレーズ	番組内容と視聴のねらい
4月中旬	第1回 仮装パーティーに潜入！！ E： Can I hear you play a tune? F： Please don't say that.	英語だけで授業を行っている日本の小学校、ぐんま国際アカデミーに体験入学した小学生の様子から、英語への前向きな取り組みのイメージを持つ。
5月上旬	第2回 からだで伝えるミュージカル英語 E： Is your wife beautiful? F： You'd better be.	英語ミュージカルに挑戦している小学6年生の男の子に、密着した内容。感情をこめて英語のセリフを言う。

5月中旬	<p>第3回 10ケタの数字も自由自在</p> <p>E: What's your favorite food?</p> <p>F: What's the matter?</p>	<p>英語でそろばんに挑戦している子どもたちを紹介する内容。10億は英語でなんと言う?など、英語と数の関係を探る</p>
6月上旬	<p>第4回 福笑いで挑戦!サッカー英語</p> <p>E: Can you juggle the ball?</p> <p>F: Could you speak more slowly...please? Okey-dokey</p>	<p>10カ国の子どもたちが一緒にサッカーを学んでいる、国際チームを紹介した内容。簡単な英語だけ知っていれば、スポーツをしながら英語でコミュニケーションできることを知る。</p>
6月中旬	<p>第5回 外国人を笑わせよう!英語らくご初舞台</p> <p>E: Would you lift me up?</p> <p>F: Isn't she something!</p>	<p>英語落語に挑戦し、日本の古典の芸が、外国の人たちに伝えようとする内容。英語での生き生きとした表現を考える。</p>
6月下旬	<p>第6回 想像レシピでクッキング~!</p> <p>E: Please introduce yourself in three languages.</p> <p>F: I didn't mean to...</p>	<p>※視聴前に番組 web サイトで「えんけれせ」を体験 英語で書かれたレシピを頼りに、輸入食品店で買ったインスタント料理を作ってみる内容。英語の内容がすべてわからなくても、想像力を働かせて話のポイントを押さえることが大切だということを知る。</p>
7月上旬	<p>第7回 ジェスチャーは口ほどに物を言う?!</p> <p>E: Please sing us an enka song.</p> <p>F: Wait a minute.</p>	<p>※視聴前に番組 web サイトで「えんけれせ」を体験 「言葉を学ぶには、まず身振り手振りから」ということで、アメリカ独特のジェスチャーを学ぶ内容。ジェスチャーを使って、積極的に相手に言いたいことを伝えることを学ぶ。</p>

(10) 本時の活動

①目標：自分の好みを答える活動を通して、英語でのコミュニケーションに対して積極的な態度を身につける。

②本時の展開 (2 / 4)

過程 (分)	児童の活動	学級担任(HRT)の活動	ALTの活動	● 指導上の留意点 ◎ 評価の観点方法	教材 ☆ ICT 活用 ※インテリビで表示
ア ッ ブ (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌を歌う</li> <li>♪Head,Shoulders,Knees and toes♪</li> <li>♪Hello Song♪</li> <li>感情や様子を表す語を復習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H:英語ノート 20 ページを使いながら進行する。</li> <li>H:英語ノート 14 ページを使いながら進行する。</li> <li>H: fine,happy,hungry,sleepy,full,excited を表す絵を表示する。</li> <li>A:ジェスチャーをつけて絵の内容を発音する。</li> <li>H:日本語でフォローする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●既習の歌や語をテンポ良くふり返り、外国語活動の授業の雰囲気作りを行う。</li> </ul>	絵と伴奏 ☆英語ノート(P20) ☆英語ノート(P14) ☆表現フラッシュ
挨拶 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする。</li> <li>Hello. I'm fine / happy / hungry / sleepy /etc.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に挨拶をする。HRT と ALT で児童を分担して 1 人ひとりの児童と挨拶をする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1 人ひとりと挨拶をすることで指導者と 1 対 1 で英語でやり取りをする機会を持たせる</li> </ul>	
展開 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Let's Chant】</li> <li>英語ノートの音声を聞いてチャンツを言う。</li> <li>ALT の質問に答える。</li> <li>Yes. / No.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H: 本時のめあてを板書する。</li> <li>「好きかどうかをたずねてみよう」</li> <li>Do you like ~? Yes,I do. / No,I don't.</li> <li>I like ~.</li> <li>A:チャンツを言う。</li> <li>H: 児童と一緒にチャンツを復唱する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童が飽きずにチャンツが言えるように、児童を質問する側、答える側の 2 グループに分け、グループで掛け合ったり、単語を入れ替えたりしてチャンツを言うようにする。</li> </ul>	☆英語ノート(P25)
展開 (5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>【Let's Listen】</li> <li>質問に答える。</li> <li>音声を聞いて、3 人の好みにあわせ、表に○、×を書き込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H:英語ノート 26 ページ「Let's Listen」を操作する。</li> <li>犬, りんご, サッカーボールの絵を見せながら、それらが好きかどうかを HRT と ALT で尋ね合い、児童にも尋ねる。</li> <li>H: 音声を聞いて、Ken, Emi, Mai の好み聞き取るよう指示する。</li> <li>A: 答え合わせをする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 音声を聞く前に 26 ページの表にある犬, サッカーについて HRT と ALT で好きか嫌いかを話し合っで見せることで活動内容を想起させる。</li> <li>● 指導者どうしの尋ね合いの中に、児童も参加させる。</li> </ul>	☆英語ノート(P26)

<p>展 開 (17)</p>	<p><b>【Activity】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者が見せるものを、指導者が好きかどうか予想をする。</li> <li>好きだと思えば○の方へ、嫌いと思えば×の方へ移動する。</li> <li>・全員で指導者がそれが好きかどうかを尋ねる。</li> </ul> <p>Do you like ~?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全員で前にいる児童に絵のものが好きかどうか尋ねる。</li> </ul> <p>Do you like ~?</p> <p>前にいる児童は質問に答える。</p> <p>Yes, I do. / No, I don't.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板を半分に分け、左に○、右に×を書く。児童に今から「○か×かクイズ」をすることを告げ、そのやり方を説明する。</li> </ul> <p>A: 英語で説明する。</p> <p>H: 日本語でフォローする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の代わりに、自分の好みを言う児童を募る。指導者の時と同様、他の児童に、その児童の時に見せる絵のものが好きかどうかを予想し、○か×の方へ移動する。児童たちが移動し終えたところで、全員で、その児童に好きかどうかを尋ねるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●HRT と ALT で例示しながらやり方を説明する。</li> <li>●ALT だけでなく、児童がなるべく出題できるようにする。</li> <li>●児童が活動になれてきたら、児童だけで尋ねさせるようにしたい。</li> </ul> <p>◎自分の好みを答える。〈行動観察〉</p>	<p>☆絵のスライド (動物、食べ物 スポーツ)</p>
<p>挨拶 (8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふりかえりをする。</li> <li>がんばれたこと、英語を使って楽しかったこと等を発表する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul> <p>Good-bye. See you.</p>	<p>H: 児童が積極的に感想を言えるようにする。</p> <p>H: 児童の積極的に英語を使おうとする態度について、良かったところを言う。</p> <p>次回は、友だちに好みを尋ねる活動をすることを告げる。</p> <p>A: 児童の英語について、良かったところを言う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul> <p>Good-bye. See you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童に感想を聞く。</li> <li>●次時の意欲につながるよう、具体的に児童の良い点を評価する。</li> </ul> <p>◎英語でのコミュニケーションについて積極的な態度でふりかえっているか。〈行動観察〉</p>	

(11) 本時の授業を見る視点

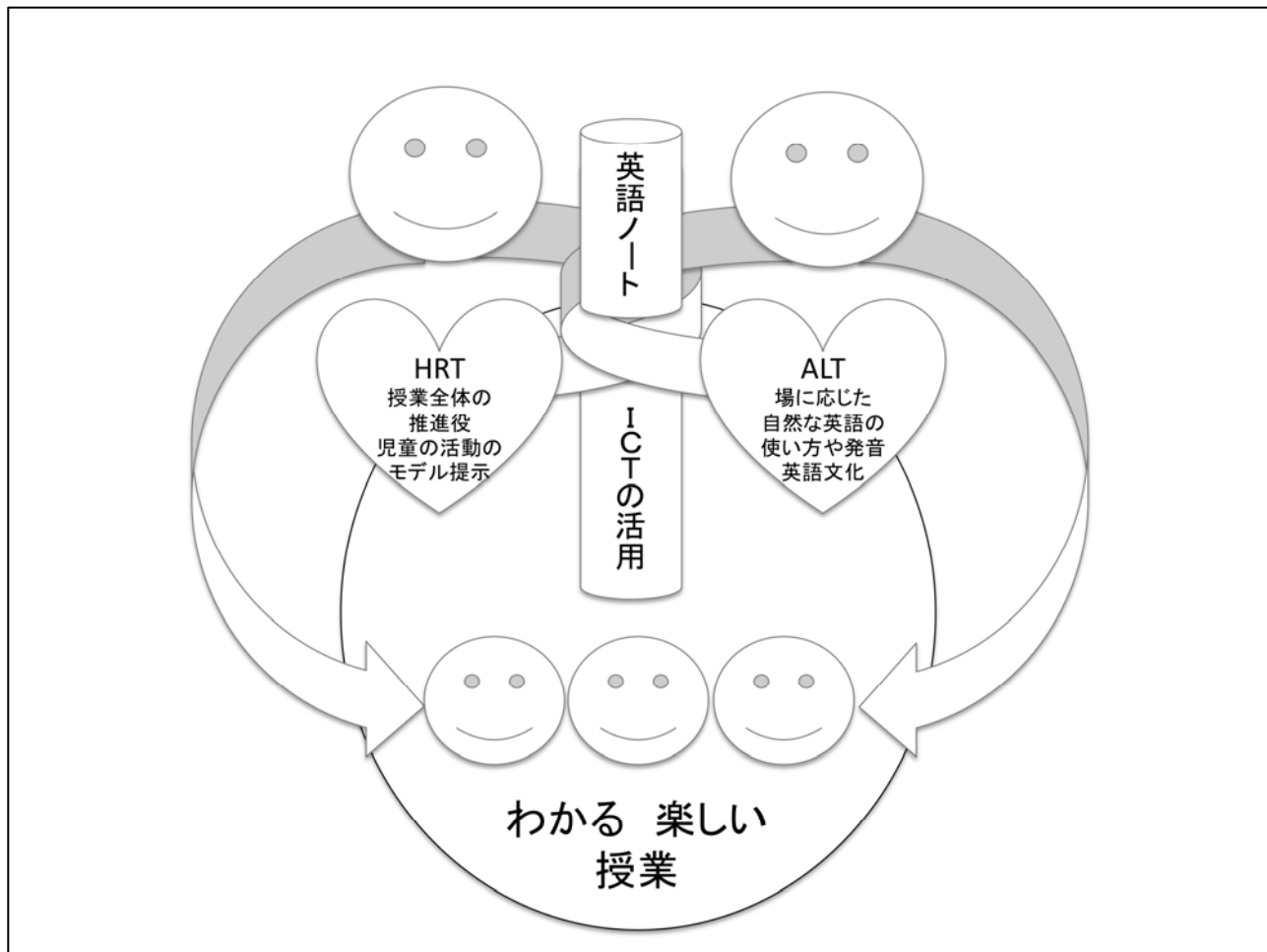
**ICT の役割**

- ①視聴覚に訴えた効果的な教材の提示であったか。
- ②児童の積極性を促す機会が設定されていたか。

**HRT, ALT, 英語ノートの役割**

- ③HRT: 授業全体の推進役、児童の活動のモデル提示、日本語によるフォローができていたか。
- ④ALT: 場に応じた自然な英語の使い方や発音を指導できていたか。
- ⑤英語ノート: 中心教材として活用できていたか。
- ⑥授業のイメージ: 英語ノートの内容を軸に HRT と ALT の掛け合いで授業を進め、児童の内容理解や積極的な参加を促す助けとして ICT を効果的に活用できていたか。

※本单元におけるHRT・ALT・ICTの相互関係に関するイメージ図





外国語活動年間指導計画 第5学年（35時間）

単元 (Lesson)	タイトル	指導内容			
		第1時	第2時	第3時	第4時
1	世界の「こんにちは」を知ろう	・世界には様々なあいさつがあることを知る。	・あいさつのマナーを知り、積極的にあいさつし、自分の名前を言う。	・友だちとあいさつをし、作成した名刺を交換する。	
	使用表現等	<i>What's your name? / My name is Ken. / Nice to meet you.</i> 等			
2	ジェスチャーをしよう	・様々な感情や様子を表す語を知り、そのジェスチャーをする。	・ジェスチャーの大切さを知り、ジェスチャーを交えて思いを伝える。	・ジェスチャーを交えて、進んで相手にあいさつする。	・感情や様子を、ジェスチャーを交えて表現し、伝える。
	使用表現等	<i>How are you? / I'm happy.</i> 等			
3	数で遊ぼう	・世界には様々なジェスチャーがあることを知るとともに、1から10までの数を言う。	・世界には様々なジェスチャーがあることを理解し、1から20までの数字を言う。	・幾つか尋ねたり、1から20までの数で答えたりする。	・数を扱ったゲームを友だちと行う。
	使用表現等	<i>How many? / Five.</i> 等			
4	自己紹介をしよう	・好き嫌いについて聞き取る。	・自分の好き嫌いを相手に伝える。	・友だちに好き嫌いを尋ねる。	・自分の好きなものを含めて、自己紹介する。
	使用表現等	<i>Do you like apples? / Yes, I do. / No, I don't. I like bananas. / Thank you.</i> 等			
5	いろいろな国の衣装を知ろう	・世界には様々な衣服があることを知るとともに、衣服の言い方を知る。	・自分の意見をはっきり言うことと大切さに気付くとともに、衣服を買う時の表現を知る。	・好みをはっきり言ったり、相手が気持ちよく買い物できるように声をかける。	・聞き手に自分が買ったものが正しく伝わるように発表する。
	使用表現等	<i>I don't like blue.</i> 等			
6	外来語を知ろう	・外来語とその由来の語との発音の違いに気付き、注意して発音する。	・相手から尋ねられた際、自分の欲しいものを相手に頼む。	・欲しいものを尋ねたり要求したりして、友だちのフルーツ・パフェを作る。	・作ったフルーツ・パフェを紹介する。
	使用表現等	<i>What do you want? / Melon, please.</i> 等			
7	クイズ大会をしよう	・英語と日本語の違いを通して、漢字の成り立ちの面白さに気付く。	・“What's this?”の質問に対して、何について尋ねられているか理解し、答える。	・“What's this?”を使って尋ねる。	・友だちと互いに尋ねたり答えたりして、クイズ大会を楽しむ。
	使用表現等	<i>What's this? / It's a pencil.</i> 等			
8	時間割を作ろう	・外国の小学校では、どのようなものが学習されているか知るとともに、教科の言い方を知る。	・教科名や曜日を扱ったゲームを積極的にする。	・作成した自分のオリジナル曜日時間割を友だちに伝える。	・グループで作成した時間割を発表する。
	使用表現等	<i>I study Japanese.</i> 等			
9	ランチ・メニューを作ろう	・日本と外国とでは、朝食時に食べるものが異なっていることを知る。	・食べ物や料理を表す語を知る。	・丁寧な表現で尋ねたり、自分の欲しいものを伝えたりする。	・グループで作成したスペシャル・ランチを紹介する。
	使用表現等	<i>What would you like? / I'd like juice.</i> 等			

※ 平成21年度より、「英語ノートI」の年間指導計画（35時間分）を活用している。行事や児童の実態に合わせ、適宜、入れ替えや差し替えをしながら進めている。